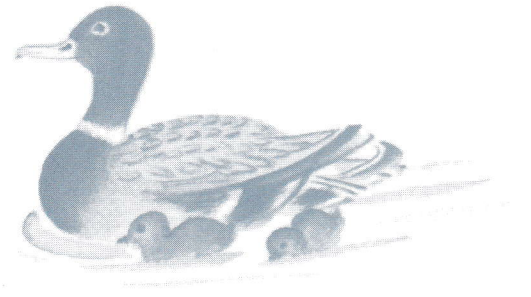


# 親鴨だより



2017年 6月号  
第279号

---

親鴨会の皆様、あっという間に1年が過ぎた気がします。本社の内装工事のお蔭で、今年も昨年に続き幕張での総会開催となりました。生憎と雨模様のお天気で、出席者の減少を心配しましたが、昨年とほぼ同じ数の会員がお集まりくださり、幹事一同ホッとしています。

今年の親鴨会総会の記念講演は、長野一隆さんの「魅惑のルネサンス美術」と岡村久和さんのIOTでした。

大変なご好評を頂いて主催者として嬉しい限りです。

最近の世界情勢は、北朝鮮が核開発、弾道ミサイルの開発実験を続け、今後、世界が特にアメリカのトランプ大統領がどう対応するのか重大な関心事です。日本も他人事では済まされません。

こうした環境のもとで、発足以来32年が経過した親鴨会としてどう継続して生き延びて行けば良いか、苦心しています。

インターネットの使い方の多様化で、会員の連絡方法を考え直す必要があり、若い幹事の参加が必要になってきました。

他方、発足当初からの会員の方は90歳を超え、今更パソコンを習う事は大変で、定期的に印刷物の配布を考えなければなりません。当然、経費が必要です。一つの案として、会員の皆様が持っているお宝です。

あの世までは持って行けないので、生きている内に好きな方に譲って、半額を親鴨会に寄付して頂くよう呼びかけています。ベルスさんと相談していますが、まだ実現していません。自分の持ち物を整理していた所、世界名画切手1万点のクレコションが出て来ました。これも親鴨会の資産として、展示販売する事を計画しています。今回は良いお便りが出来ます様頑張ります。

親鴨会会長 尾立 盛安

平成29年5月19日